

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	治多 伸介	専攻	生物環境学
		コース	水環境再生科学特別
職名	教授	専門分野	水処理工学・地域環境整備学
メールアドレス	haruta@agr.ehime-u.ac.jp	その他連絡先	
研究課題	農村の農業用水, 生活用水, 河川水, 地下水などの水質環境改善技術と下水処理水や下水汚泥等の水処理副生成物の農業利用技術の開発・改良		
キーワード	水質浄化, 下水処理水の農業利用, 下水汚泥有効利用		

研究内容：

水質浄化技術について

- 1) 農業集落排水施設(農村下水道)や戸別浄化槽に適した技術開発, 改良
- 2) 河川水, 地下水, ダム貯水の水質保全対策技術と直接浄化技術の技術開発, 改良
- 3) 微生物, 植物, 光, 新素材などを活用した革新的なリン, 窒素, 微量有機汚染物質などの除去技術の開発

下水再生水利用について

- 1) 農業利用における安全性評価(リスクアセスメント)と安全性向上技術の開発
- 2) 下水処理水の農業利用過程での再浄化機能の評価と高度活用方法の確立

下水汚泥の活用について

- 1) 下水汚泥の土壌改良材や肥料としての農地再利用の際の安全性評価(リスクアセスメント)と安全性向上技術の開発
- 2) 下水汚泥からの有用物質(例えば, リン)の選択的回収・利用技術の開発

目標: 日本と世界の農村地域の水環境問題の解決



農村向けの革新的な
水処理技術
処理水利用技術
汚泥活用技術
の開発

提供可能な資源・技術・その他

重金属類, 窒素, リン, 微量有機汚染物質などの分析技術

プロジェクト研究希望テーマ

農村向けの革新的な水処理技術, 処理水利用技術, 汚泥活用技術の開発